

株主メモ

事業年度 / 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 / 毎年6月

基準日 | 定時株主総会・期末配当 / 毎年3月31日
| 中間配当 / 毎年9月30日

単元株式数 / 100株

株主名簿管理人 / 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

郵便物送付先 / 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) / 電話 ☎0120-78-2031

取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

公告方法 / 電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を行うことができない場合の公告は、日本経済新聞に掲載いたします。

電子公告先: 当社ホームページ

<http://www.chukyoyiakuhin.co.jp>

上場取引所 / 大阪証券取引所 JASDAQ市場 証券コード4558

株主優待 / 毎年3月31日現在の株主の皆様へ、ご所有株式数に応じ、自社取扱商品を5月下旬に発送いたします。

ご所有株式数	自社取扱商品
100株以上、300株未満	1,000円相当
300株以上、500株未満	2,000円相当
500株以上、1,000株未満	3,000円相当
1,000株以上、5,000株未満	5,000円相当
5,000株以上	10,000円相当

■住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

■未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

■上場株式配当等の支払いに関する通知書について
租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、平成21年1月以降にお支払いする配当金について株主様あてに配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を送付することが義務づけられました。配当金領収証にてお受取りの株主様は年末または翌年初に「支払通知書」を送付いたしますのでご覧ください。口座振込を指定されている株主様は配当金支払いの際送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。なお、両書類は確定申告を行う際その添付資料としてご使用いただくことができます。

■株主様のご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内
株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録しております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。



■中京医薬品オフィシャルサイト www.chukyoyiakuhin.co.jp

■中京医薬品アクアマジック オフィシャルサイト www.aqua-magic.net

■中京医薬品・楽天ショップ [イキイキ良品館] www.rakuten.ne.jp/gold/ikiiki-ryouhin/

The 32^{nd.} Business Report

第32期 報告書

平成21年4月1日 >> 平成22年3月31日



南インドを訪れ、カーストにおける、男女差別や雇用状況の厳しさの中で挑戦し続けている人々を目の当たりにしました。この人々とのふれあいを大切に「私たちにできることは何か」を考え続けます。

きずなASSIST



株式会社 中京医薬品

JASDAQ
証券コード4558

株主の皆様へ

お客様に「健康」と「幸福」をお届けするために、
「ふれあい業」の基本に忠実な事業展開を。

株式会社 中京医薬品
代表取締役社長

山田正行

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素より格別のご支援並びにご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。ここに、中京医薬品の第32期(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)のご報告をするにあたり、株主の皆様へ一言ご挨拶申し上げます。

所の新規出店を抑制し、10月より1部10課制から3部11課制とし営業力の強化と管理体制の充実を図り、顧客ニーズにきめ細かく、スピーディーに対応できる営業を心がけながら、顧客数の拡大に努めてまいりました。また、アクアマジック事業部で展開する売水事業を第2の収益の柱とすべく今後の事業拡大に備え体制の整備に努めてまいりました。

当期における我が国の経済は、世界的な景気後退の影響が残り、また円高基調が続く中で一部に持ち直しの兆しはあるものの国内景気の見通しは相変わらず不透明で、雇用情勢や所得環境は依然として厳しく、回復は非常に弱々しいものとなっております。

当社の商品やサービスは、お客様との会話の中から、よりよい暮らしと健康づくりをご提案することが基本です。この「ふれあい業」の精神を大切に、これまでの枠にとらわれることなく、より質の高い商品、より満足していただけるサービスをお届けすることが社会貢献につながっていくものと確信しております。とりわけ当期より、企業市民としてのあり方を考え、日常の企業活動における社会との関わりに重点をおき、当社ならではのCSRに取り組んでおります。

こうした状況の中、当社は営業の現場において顧客満足度の向上をしっかりと根付かせ、お客様により一層の「健康」と「幸福」をお届けできる企業を目指してまいりました。平成18年4月よりスタートした中期経営計画に基づく積極的な営業政策を継続し、経営基盤の強化にも取り組んでまいりました。とりわけ当社の中核事業であります配置販売業におきましては、営業

株主の皆様におかれましても、当社独自の基本姿勢と、これからの可能性にご期待いただき、今後ともご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



中京医薬品株式会社



常備薬の赤い箱

CONTENTS

- 株主の皆様へ 2
- 第32期の概況 3
- 第33期の抱負と見通し 4
- 財務ハイライト 5
- トピックス 7
- 中京医薬品のCSR 9
- 株主還元の推移 13
- 財務諸表 15
- 株式の状況 17
- 会社情報 18



第32期の概況

第32期は、
どんな1年だったと総括していますか

第32期は、前期に続いて平成18年4月より着手しております中期経営計画に基づいた営業政策を継続し、経営意志の徹底を図る新たな組織を構築し事業にあたりました。当社の中核事業である家庭医薬品等販売事業においては各営業所において顧客拡大に取り組む一方で、営業所の新規出店を7月の熊本営業所1店舗に抑制するとともに、10月より1部10課制から3部11課制とし、顧客満足を追求できる体制を整えました。一方で、一層の販売費及び一般管理費の削減に取り組み、強固な財務基盤の構築に努め、目指すべき高収益体質へまた一歩近づいてまいりました。

国内景気の低迷が続く、薬事法の改正もあって家庭医薬品等販売事業を取り巻く環境は厳しさを増していますが、そうした逆境をチャンスととらえ、当社の基本である「ふれあい業」の精神を大切に、一軒一軒のお客様との信頼関係をより強固なものにするための取り組みを続けてまいりました。



この1年間の大きな動きは
どんなものがありましたか

経営環境が厳しい時代だからこそ、新たな好機を見出す必要があります。家庭医薬品等販売事業においては医薬品販売の規制が大きく緩和され、コンビニエンスストアでも医薬品を販売できる時代になりました。こうした状況は一見、私どもに不利なものですが、実際の生活者の方々には医薬品に関する知識は少なく、どんな症状にどんな医薬品がよいのかお困りなのではないでしょうか。私どもの家庭医薬品等販売事業は、お客様とふれあい、じっくりとお話しさせていただく中で、医薬品一つひとつの特性、お客様のお悩みなどをお伺いし、常に最適なお提案をしています。言い換えれば、医薬品の安心・安全を担保できるのは私たちのような企業で

あると自負しております。そのため、営業担当者の資質向上に努め定期的な講習・勉強会を重ねるとともに、営業企画部を新設し教育面でのサポートをはじめ、営業担当者のスキルアップに力を注ぎました。

また、家庭医薬品等販売事業に継ぐ第2の収益の柱となるアクアマジック事業部による売水事業は、今後の事業拡大に備えてこれまで以上に体制を強化しています。一方、当期8月に開始いたしましたペット関連商品販売事業のパートナーズジャパン事業は、採算の向上が見込めないことから当期をもって撤退し、家庭医薬品等販売事業と売水事業に経営資源を集中させる体制を整えています。

さて、決算の概況はいかがでしょう

連結子会社でありました株式会社ユナイテッドデザインと株式会社中京医薬品コアの両社につきましては前期に解散決議をし、当期第1四半期会計期間において清算終了しましたので、当期より決算は単独決算のみとなりました。

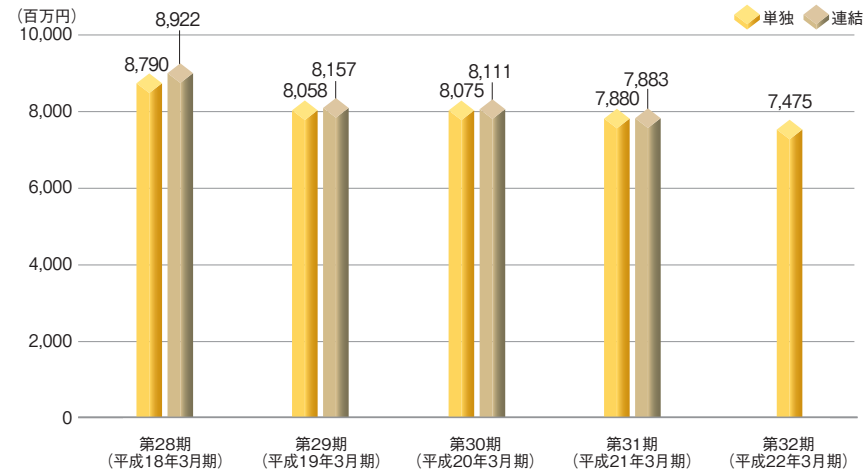
そのような状況の中で当期における売上高は74億75百万円(前期比5.1%減)、営業利益は1億74百万円(前期比35.8%減)、経常利益は1億97百万円(前期比34.4%減)、また当期純利益は89百万円(前期比56.8%減)となりました。

第33期の 抱負と見通し

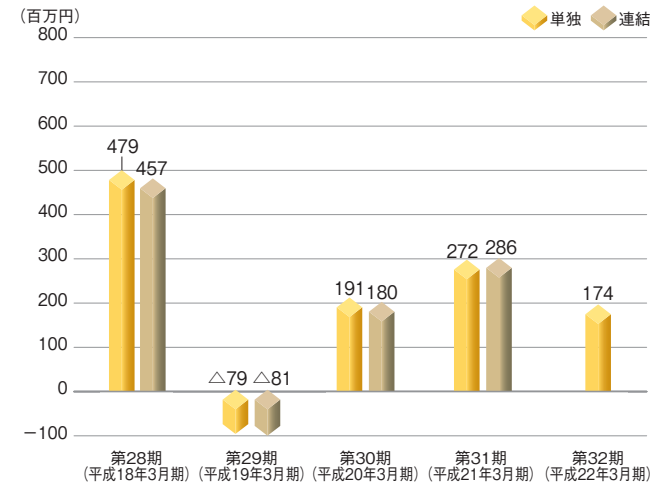
この数年は、組織改革などの体制強化や人材育成により、時代に即した「ふれあい業」を模索してまいりましたが、2期続けて利益計上できましたことにより、取り組みの効果が浸透してきたものと考えます。第33期は、まずは社長の私自らが家庭医薬品等販売事業の陣頭指揮に立ち、既存のお客様との信頼関係をさらに強固に育てる一方で、じっくりと新規顧客開拓を進め、質実共に充実した年度にしたいと考えています。

こうした堅実さと積極さを併せ持った戦略により、第33期通期での業績目標は、売上高72億40百万円、営業利益2億円、経常利益1億90百万円、また当期純利益は1億円を見込んでおります。今後も、お客様に喜ばれる商品とサービスを提供し続けることにより顧客満足を向上させ、広く社会から求められる人間集団にしていきたいと存じます。株主の皆様におかれましても、どうぞ倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

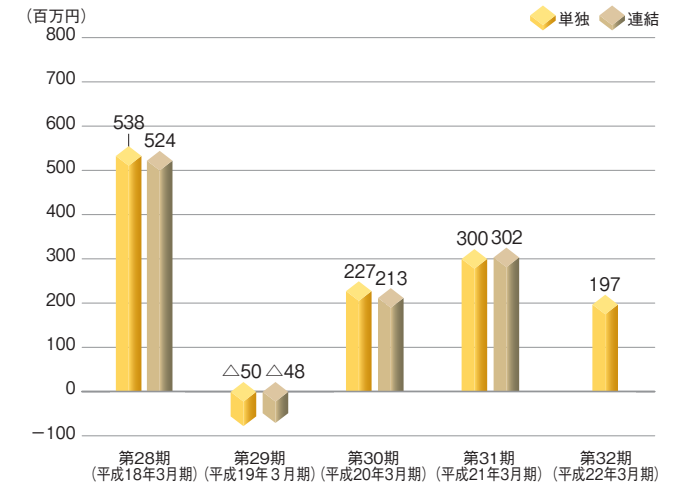
■売上高



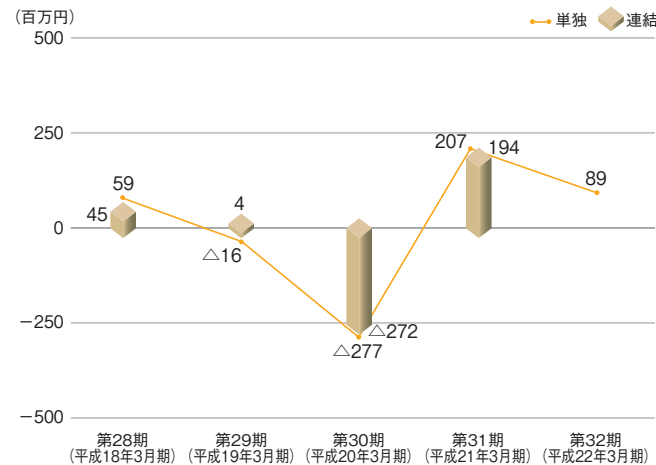
■営業利益



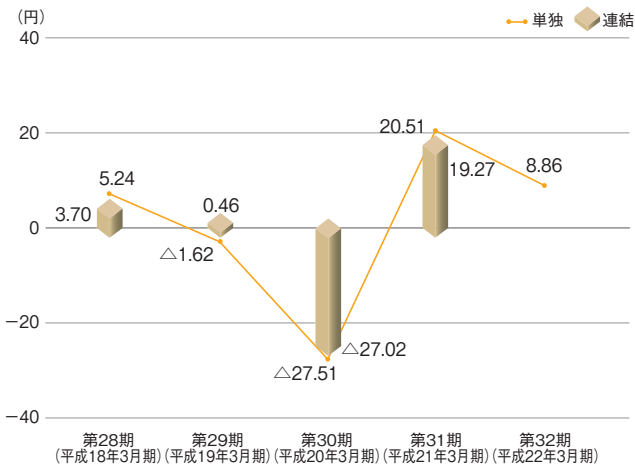
■経常利益



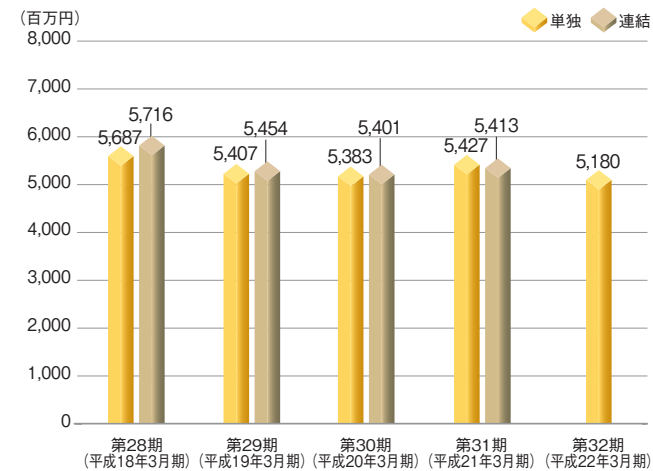
■当期純利益



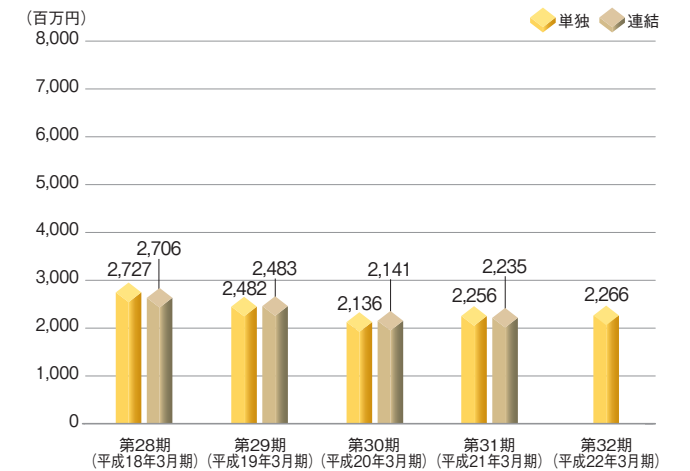
■1株当たり当期純利益



■総資産額



■純資産額



※前期におきまして連結子会社の解散決議をし、当中間期にて清算終了しており事業活動は行っていません。よって当中間期は前中間期との比較は行っていません。

1 CSR活動の一環として位置づけている、当社独自の海外ボランティア研修活動 きずなASSIST

平成6年から取り組んでいる、当社独自の国際貢献活動「きずなASSIST」。これまでネパールでの学校建設に社員を派遣して以来、カンボジアでの保健指導者育成、インド、バングラデシュ、スリランカでの生活改善指導員育成など、当社の社員が各国の人々とふれあいながら健康づくりの支援に取り組んでいます。近年は、ベトナムでのマングローブの植林、津波や地震の被害にあったインドネシアやスリランカへは支援活動を行うなど、その活動領域はどんどん広がっています。また、国内でもどんぐりの苗木の植樹や身障者施設のイベント協賛、ホームステイの受け入れなどを継続して行い、地域社会との関わりも深め、当社のCSRの柱となっている活動です。本事業年度は、3月に社員が南インドでボランティア研修へ参加。あらゆる格差や差別におかれている現地の人々とのふれあいを通して彼らのために私たちができることは何かを考えています。(この活動の内容は当社のオフィシャルサイトで詳しく紹介しています。)



2 空前の災害となったハイチ地震 災害義援金を募り、寄付いたしました

本年1月12日、ハイチ共和国で起こったマグニチュード7.0の地震では、約20万人の方が亡くなり、多くの方が家を失いました。「きずなASSIST」で国際貢献活動を展開する当社では、被災者の方々に少しでもお役に立てるように社内募金を実施。集まった「ハイチ災害義援金」と、「きずなASSIST」の活動で皆様からお預かりした募金より、合わせて計30万円を日本国際飢餓対策機構（JIFH）に寄付し、被災されたハイチの人々のからだの飢餓と心の飢餓の解決のために活用していただきます。



3 低価格で、機能性を高めた健康食品 レインボーヘルスシリーズ

当社では、新しい健康食品シリーズ「レインボーヘルスシリーズ」を昨年4月より発売しています。市場性が高い成分をメインに用いてお客様にとってわかりやすい商品にするとともに、有効成分の含有量を増やして機能性も高めています。さらに、お求めやすい低価格でありながら、1ヶ月分以上の量が入っています。この「レインボーヘルスシリーズ」では、パッケージのデザインを統一することにより、「レインボーヘルス=中京医薬品」というイメージをお客様に持っていただき、会社の認知度・イメージの向上を図るブランド戦略にも取り組んでいます。当社ではさらに新商品を追加し、新しいイメージと手頃な価格、充実した商品構成によって、健康や美容に関心の高い若い世代にも浸透するシリーズへと育てていきたいと考えています。



4 当社のホームページと会社案内をリニューアルしました

これまでのホームページが、一般閲覧者や取引先および投資家の皆様並びに学生などを対象とした情報提供に重点を置いた「案内」タイプだとすれば、今回リニューアルしたホームページは「ふれあい」タイプ。お客様の視点に立って、あたたかなオレンジ色を基調にした画面にイラストもいっぱい、だれがアクセスしても楽しく参考になるようなホームページにしました。

また会社案内は、夢創りこそが企業づくり、という当社の基本的な考え方を表現し、「笑顔づくり・夢創り 思いやりの中京医薬品」というテーマでリニューアル。社長のメッセージや事業のアウトラインはもちろん、CSRの概要や創業からの歴史を綴った読み物もあり、当社の誕生から今、そしてビジョンまでが一冊にまとまりました。ホームページ(<http://www.chukyoiyakuhin.co.jp>)よりダウンロードできます。



中京医薬品は、ふれあい業をもとに、健康づくりのお手伝いを通して、幸福な暮らしを共に実現していくことをCSRのビジョンに掲げています。社会で必要とされる企業であり続けるために、正しい経営活動を行い、地域社会と共に繁栄する企業を目指す、その根底に私たちのCSRがあります。

置き薬業という中京医薬品の事業 そのものがCSR活動です



◆トップのコミットメント

人は社会で生きている限り、社会のルールを守らなければなりません。その社会生活を営むためには強い責任感と高い倫理観が求められます。企業もまた法人と言われるように人と同様な行動規範が求められます。しかも企業活動をしていく中で、様々なステークホルダー(お客様、お取引先、株主の皆様、社員、地域社会の皆様などの関係者全体)とは信頼と協調を共にした良好な関わり方が重要となります。元来、置き薬業は地域社会に深く根を下ろし、生命や健康生活に密着しているが故に企業活動自体が高い社会貢献性をもってきます。その意味で中京医薬品の企業活動はCSRそのものだと考えます。

中京医薬品は、あくまでも「置き薬業」を基本にして、お客様の要望に応える商品・情報・サービスの提供を行うことで、社会的責任を果たしていきたいと考えます。

社会からの要請や期待に応え信頼を得ることによって持続的な発展を目指す企業となるため、CSRを積極的に推進していきます。

企業は社会の様々なステークホルダーと関わりをもってつながり合っており、その社会的責任を果たすことによって信頼を得ています。企業の活動は「持続可能な社会に貢献」することであり、その貢献こそが「社会から信頼され持続的に発展する企業」になります。社会に対し大きな責任を果たし信頼を得ること、それこそがCSRと考えています。

中京医薬品は、「健康づくり、幸福づくり、人づくり」を企業理念に掲げCSRを推奨し、より愛される、より親しまれる企業を目指してまいります。

■CSRの基本方針

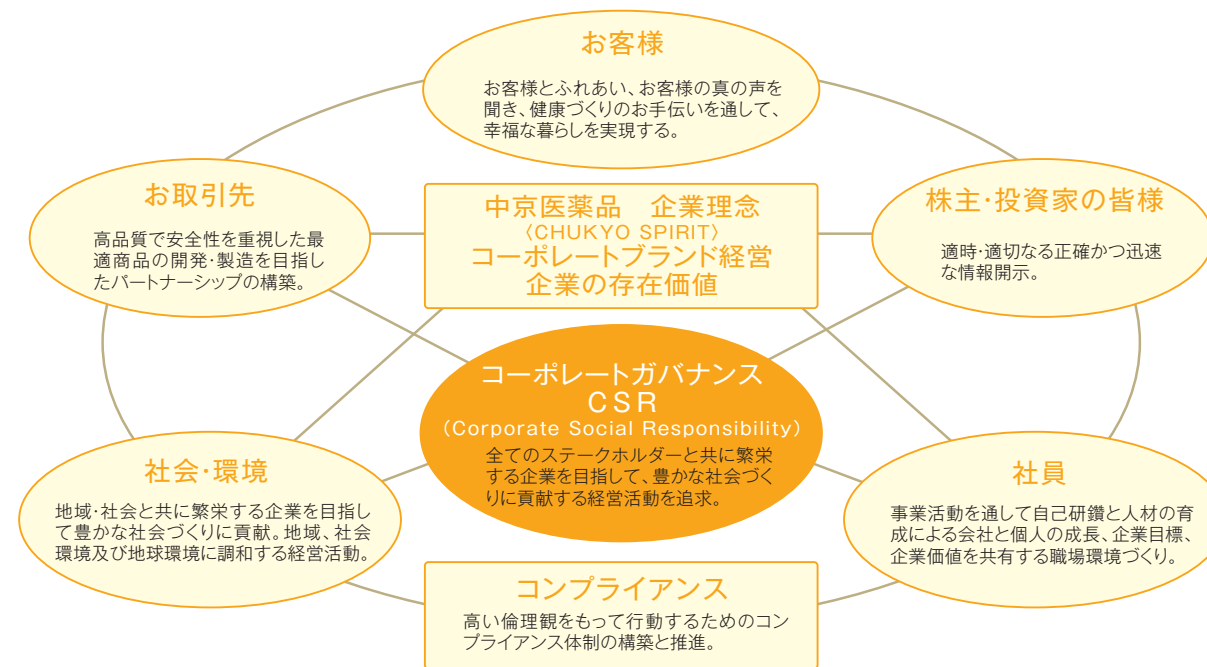
中京医薬品は、お客様とのふれあい業を基礎に、健康づくりのお手伝いを通して、幸福な暮らしを共に実現していくことをCSRのビジョンに掲げています。社会

で必要とされる企業であり続けるために、正しい経営活動を行い地域・社会と共に繁栄する企業を目指して成長し続ける、その根底に私たちのCSRがあります。

■CSRの考え方とビジョンマップ

中京医薬品はCSRの基本方針の実現のためにステークホルダー別のテーマを明確にし行動指針としています。また、全てのステークホルダーに共通するコー

ポレートガバナンス・コンプライアンス・環境は特に優先課題と考えています。

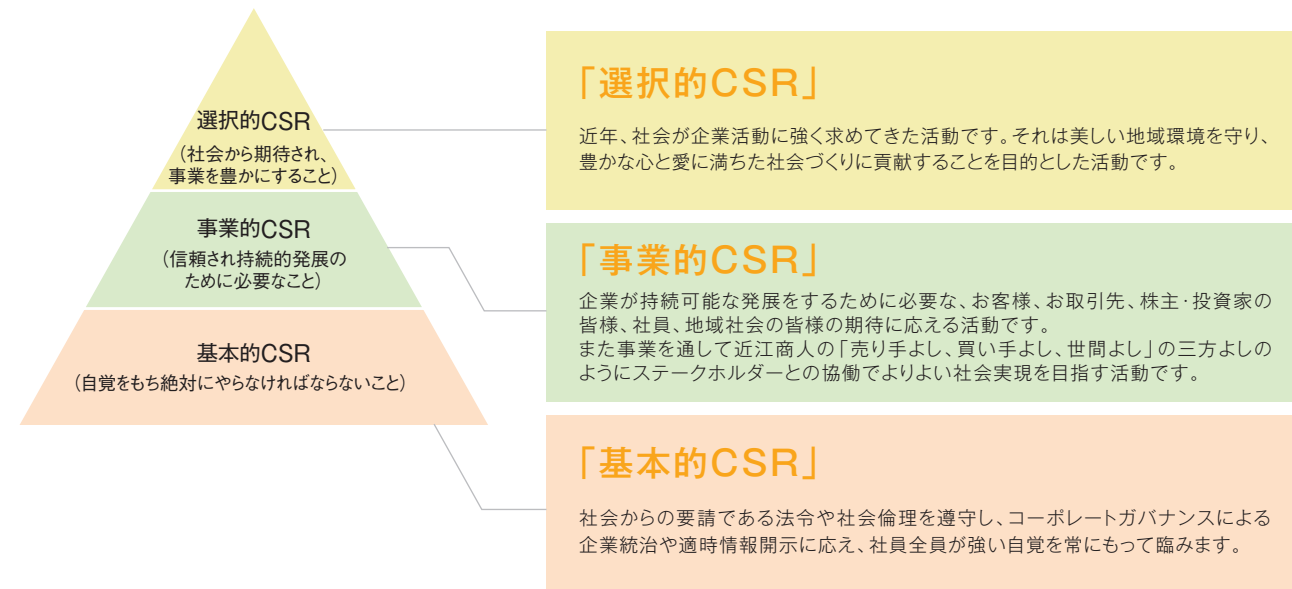


■CSRの3つの分類

CSRは企業の事業活動を通して社会に対し責任を果たすことです。これまでの事業活動をステークホルダーの視点、社会的責任の視点で考え充実させることが重要であり、CSRを経営戦略の中核に位置づけることによって日々、地道に実践することで社会

の責任を果たし「信頼され期待される」企業に成り得る活動と認識しています。

中京医薬品では、社会的責任を果たすためにCSRを「基本的CSR」「事業的CSR」「選択的CSR」の三つに分類し、それぞれに積極的に推進していきます。



■中京医薬品の具体的なCSR活動

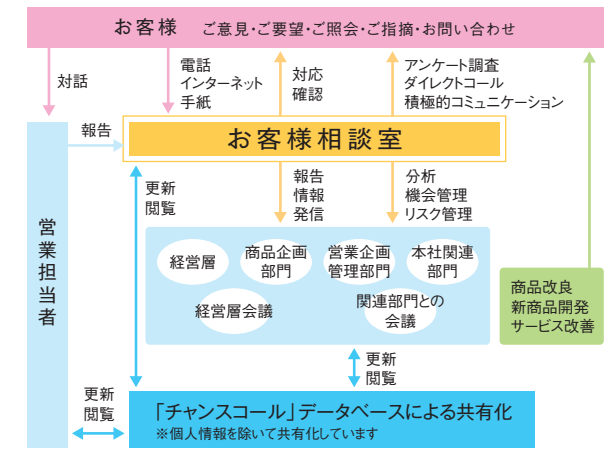
基本的CSR

「お客様相談室」

「お客様の声」を経営品質を高め、経営発展するための“財産”と位置づけ、迅速かつ誠実に対応し商品やサービスの改善に役立たせます。

◎基本的な考え方

私たちはお客様からのご意見・ご要望またはご指摘などの声を「チャンスコール」ととらえ、経営品質を高め、経営発展するための“財産”と位置づけています。「お客様の声」を積極的に把握することに努め、迅速かつ誠実に商品やサービスを開発・改善し、お客様のご満足を継続的に高めています。また、「お客様の声」を全社内にて正確に伝達して、営業担当者から経営層まで全社員がより良い商品やサービスの提供に活かすことを基本方針に掲げ、お客様との対話を大切にしていきます。



選択的CSR

「社会・環境活動報告」

◎地域・社会と調和ある繁栄を実現

中京医薬品は、地球環境の維持と保全が人類共通の最重要課題の一つであることを深く認識し、その企業活動が人の健康にかかわり、地球環境に配慮し、好影響を及ぼす経営を目指し、配置販売システムによる医薬品等の販売を通して社会に貢献していきます。また、社員一人ひとりについても、活動のあらゆる面において環境の維持・保全に配慮して行動します。

◆地球も笑顔の環境ISO認証取得

環境保全についての各種法律・条例・行政指導・協定などを遵守し、(環境ISO)ISO14001に基づくマネジメントシステムにより、環境に配慮した商品パッケージの推進・拡大(少量・軽量化、使用インキ)、リターナブルボトル採用による、ミネラルウォーターの製造販売、電気および紙等の資源・エネルギー使用量の削減、【きずなASSIST】(社会貢献活動)、地球環境保全のための植林活動などを積極的に行います。

◆社会貢献活動「きずなASSIST」

お客様とふれあいながら、健康づくりのお手伝いを通して幸福な暮らしを共に実現していこうという理念を世界という視野にまで広げたものが、私たち独自の国際貢献活動「きずなASSIST」です。「世界の子どもたちに健康と教育を」をテーマに展開されているこの活動は、単に資金援助だけではなく、中京医薬品の社員が現地へ赴き、子どもたちとふれあいながら活動を育成するもので、企業としての国際交流活動と位置づけることができます。

株主還元の基本方針

株主の皆様の当社への期待にお応えするため、積極的な事業活動により企業価値の向上を図る一方で、今後の収益、財務体質、事業投資への対応を勘案しつつ、株主重視の観点から株主還元施策に取り組んでまいります。配当に関しましては、安定的かつ継続的な配当の維持・向上を基本として、業績、中長期的な成長性、純資産配当率(DOE)等を加味し総合的に判断して行う考えです。またそれに加えて株式分割に関しましては、1株当たり利益の増加等を鑑みながら機動的に実施し、還元水準の一層の向上に努めてまいります。

※1 創業50周年記念配当金5円を含む
 ※2 株式店頭公開5周年記念配当金2.5円を含む
 ※3 法人設立30周年記念配当金5円を含む

■株式分割

平成11年5月	2割分割を実施
平成12年5月	5割分割を実施
平成13年5月	2割分割を実施
平成14年5月	1割分割を実施
平成15年5月	1割分割を実施
平成18年4月	1割分割を実施

■配当金の推移(1株当たり)

平成11年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成12年3月期 (9月中間期含む)	10円※1
平成13年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成14年3月期 (9月中間期含む)	7.5円※2
平成15年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成16年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成17年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成18年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成19年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成20年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成21年3月期 (9月中間期含む)	10円※3
平成22年3月期 (9月中間期含む)	5円


■株主優待

平成22年3月の例(3月末現在の株主)

100株以上 300株未満 (1,000円相当額)	らくらくフキン (3枚入り)×1個
300株以上 500株未満 (2,000円相当額)	Ag+パワーで洗濯せいけつ クリーン×1個
500株以上 1,000株未満 (3,000円相当額)	Ag+パワーで洗濯せいけつ クリーン×1個 らくらくフキン(3枚入り)×1個
1,000株以上 5,000株未満 (5,000円相当額)	薬屋さんが考えた濃縮野菜 1箱5パック(30缶入り)
5,000株以上 (10,000円相当額)	薬屋さんが考えた濃縮野菜 1箱5パック(30缶入り) 薬屋さんが処方した美味しいカレー 1箱


平成21年3月の例(3月末現在の株主)

100株以上 (1,000円相当額)	ハイガード立体マスク (5枚入り)×5個
300株以上 (2,000円相当額)	ハイガード立体マスク (5枚入り)×10個
500株以上 (3,000円相当額)	薬屋さんが考えた濃縮野菜 3パック(18缶入り)
1,000株以上 (5,000円相当額)	薬屋さんが考えた濃縮野菜 1箱5パック(30缶入り)
5,000株以上 (10,000円相当額)	薬屋さんが考えた濃縮野菜 1箱5パック(30缶入り) 薬屋さんが処方した美味しいカレー 1箱



薬屋さんが考えた濃縮野菜

厚生労働省が推奨する野菜の1日の目標摂取量「350g」をはるかに上回る、16種類「400g」の野菜をぎゅっと濃縮して使用。野菜ジュース業界の最大手「カゴメ」の技術協力のもと、おいしさはもちろん、医薬品会社ならではの健康と安心を意識した栄養成分、無添加にこだわりました。業界初、1缶にリコピン25mg含有、さらにクルクミン30mg含有。からだ想いの超濃厚野菜ジュースです。



薬屋さんが処方した美味しいカレーシリーズ

■マサラビーフ／30種類にも及ぶカレースパイスをブレンドし、独自のガラムマサラを作りあげました。薬屋さんの目利きで選んだ、漢方薬としても使われるスパイスの絶妙な味わいが自慢です。

■グレイビービーフ／一流シェフのレシピをもとに、漢方薬としても使われる各種スパイスをふんだんに使い、お肉の味を最大限に引き出しました。鉄板でローストした肉汁の旨味がつまった贅沢なカレーです。

貸借対照表

(単位:千円)

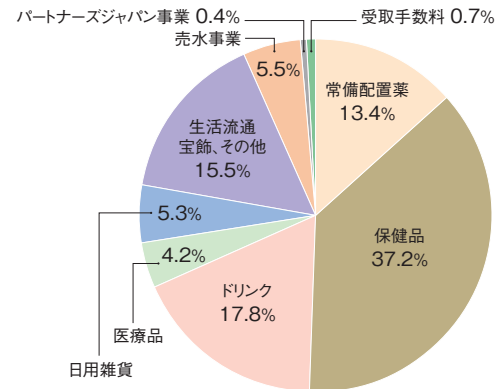
科目	当期 (平成22年3月31日現在)	前期 (平成21年3月31日現在)
【資産の部】		
流動資産	2,438,315	2,553,230
固定資産	2,742,384	2,874,060
有形固定資産	2,190,039	2,244,351
無形固定資産	56,325	28,894
投資その他の資産	496,018	600,814
資産合計	5,180,700	5,427,290
【負債の部】		
流動負債	1,491,133	1,975,561
固定負債	1,422,638	1,195,117
負債合計	2,913,772	3,170,679
【純資産の部】		
株主資本	2,270,581	2,257,016
資本金	530,950	530,950
資本剰余金	274,115	274,115
利益剰余金	2,013,715	2,000,087
自己株式	△548,199	△548,135
評価・換算差額等	△3,653	△405
その他有価証券評価差額金	△3,653	△405
純資産合計	2,266,928	2,256,611
負債及び純資産合計	5,180,700	5,427,290

損益計算書

(単位:千円)

科目	当期 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)	前期 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)
売上高	7,475,339	7,880,630
売上原価	2,421,788	2,623,598
売上総利益	5,053,550	5,257,031
販売費及び一般管理費	4,878,655	4,984,483
営業利益	174,895	272,548
営業外収益	46,207	47,515
営業外費用	23,969	19,758
経常利益	197,133	300,305
特別利益	38,016	103,010
特別損失	27,869	59,001
税引前当期純利益	207,281	344,313
法人税、住民税及び事業税	46,709	155,698
法人税等調整額	71,189	△18,431
当期純利益	89,382	207,046

商品別売上高構成比



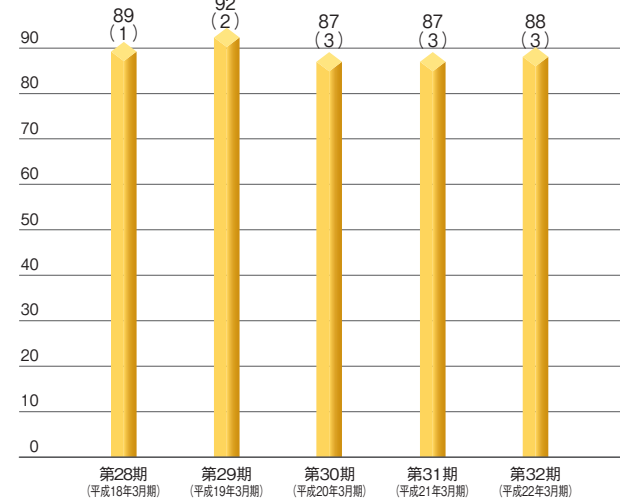
株主資本等変動計算書 当事業年度(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位:千円)

科目	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成21年3月31日残高	530,950	274,115	2,000,087	△548,135	2,257,016	△405	△405	2,256,611
事業年度中の変動額								
剰余金の配当			△75,744		△75,744			△75,744
当期純利益			89,382		89,382			89,382
自己株式の取得				△92	△92			△92
自己株式の処分				29	19			19
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額 (純額)						△3,247	△3,247	△3,247
事業年度中の変動額合計	-	-	13,628	△63	13,564	△3,247	△3,247	10,317
平成22年3月31日残高	530,950	274,115	2,013,715	△548,199	2,270,581	△3,653	△3,653	2,266,928

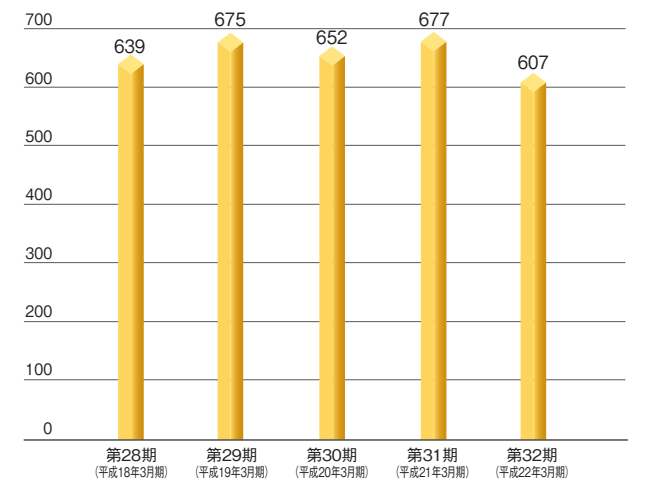
営業拠点数およびアクアマジックウォーターショップ

内()はアクアマジックウォーターショップ



従業員数

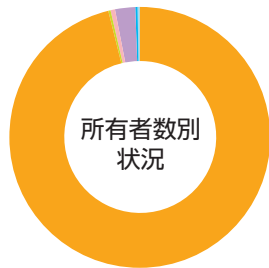
従業員数 期末人員
パート、嘱託を除く



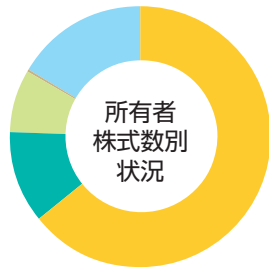
株式の状況

(平成22年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 25,000,000株
- 発行済株式の総数 11,385,734株
- 株主数 3,352名

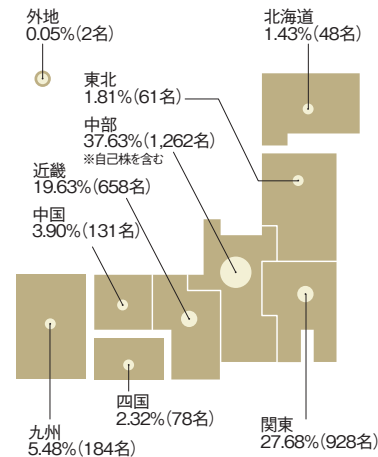


- 個人・その他 97.22% (3,259名)
- 外国人 0.11% (4名)
- 金融機関・証券会社 0.34% (21名)
- その他国内法人 1.96% (66名)
- 自己名義株式 0.02% (1名)
- 政府・地方公共団体 0.02% (1名)



- 個人・その他 64.30% (7,321千株)
- 自己名義株式 11.30% (1,287千株)
- 金融機関・証券会社 7.97% (1,013千株)
- 外国人 0.02% (2.9千株)
- その他国内法人 16.38% (1,866千株)
- 政府・地方公共団体 0.00% (0.5千株)

■地域別分布状況

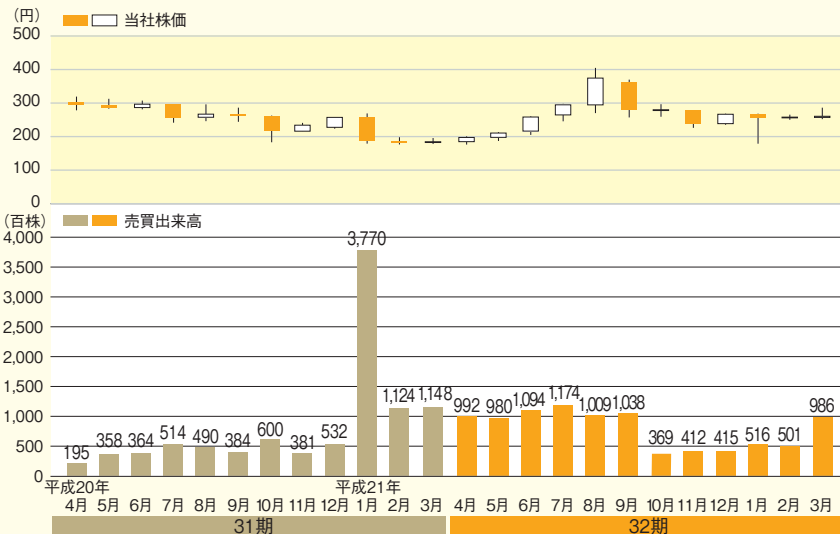


■大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
山田正行	1,347,386	13.3
山田幸男	1,092,386	10.8
有限会社ヤマショー	1,056,185	10.4
山田雄三	762,675	7.5
中京医薬品従業員持株会	312,868	3.0
中京医薬品取引先持株会	245,120	2.4
株式会社三菱東京UFJ銀行	224,246	2.2
山田重子	163,163	1.6
山田正人	145,697	1.4
明治安田生命保険相互会社	128,247	1.2

(注) 当社は自己株式1,286,678株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

■株価の推移



会社情報

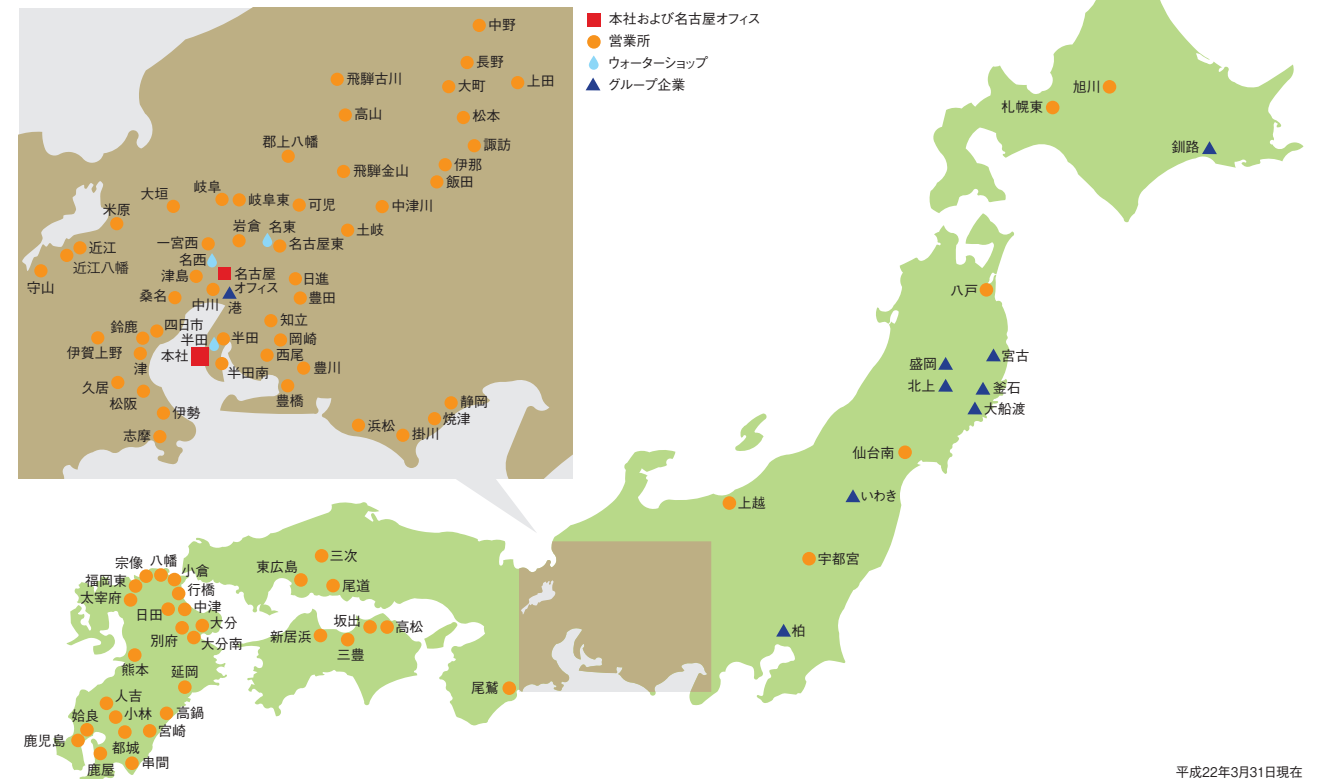
■概要 (平成22年3月31日現在)

商号	株式会社中京医薬品
本社所在地	愛知県半田市亀崎北浦町2-15-1
創業	昭和24年
設立	昭和53年
資本金	5億3,095万円
代表者	代表取締役社長 山田正行
従業員数	709名 [*] (パート・嘱託含む) [*] 組合の2名を含んでいます。
事業内容	医薬品・医薬部外品・健康食品・清涼飲料水・医療機器・化粧品・日用品・衣料品・生保・損保・通販・宝飾品などの販売。売水事業 (宅配) の展開

■役員 (平成22年6月22日現在)

代表取締役社長	山田正行	取締役	飯田亨
専務取締役	山田雄三	取締役	山本謙二
専務取締役	辻村誠	常勤監査役	柘植信吾
取締役	松本好博	監査役	長谷川了治
取締役	金澤光二	監査役	吉田和永
取締役	佐土原しづ子	監査役	田島照彦

■あなたの街の営業所



平成22年3月31日現在